



2025 明治安田 J3 リーグ 第 36 節
11/15 (土) 14:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest

栃木シティ

順位表

11/11現在
基本 35試合消化時点

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	栃木C	71p	+26	61	35	A●
2	八戸	70p	+24	45	21	H● A●
3	鹿児島	64p	+27	66	39	A● H●
4	FC大阪	64p	+20	50	30	A△
5	宮崎	61p	+15	57	42	H●
6	北九州	53p	+6	41	35	H○ A○
7	金沢	53p	+5	46	41	H● A●
	奈良	53p	+5	46	41	A△ H△
9	栃木SC	52p	+3	36	33	H● A○
10	相模原	47p	-9	33	42	H△ A○
11	福島	47p	-11	53	64	A● H●
12	鳥取	45p	-6	38	44	A● H●
13	岐阜	44p	-8	47	55	---
14	松本	39p	-6	36	42	H△ A●
15	琉球	38p	-13	38	51	A● H○
16	群馬	37p	-9	47	56	A△ H○
17	高知	37p	-18	40	58	H△ A○
18	長野	35p	-20	29	49	A○ H○
19	讃岐	31p	-18	39	57	H○ A△
20	沼津	28p	-13	38	51	H○ A○

次回HomeGame

第38節 vs.FC大阪【最終戦】

11/29(土) 15:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 **ホームラン**

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

今日もここから
串かつで一杯
煮込み珍道中
14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)
※売り切れ次第、終了です
＜定休日:日曜・祝日＞
TEL. 058-252-1580

忠節橋
通り

JR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10 分

★

アミカ

ドーミー
イン

+

JR

岐阜駅

通算対戦成績	全 1 試合 (J3:1試合) 岐阜0勝 / 栃木C1勝 / 0分け Jリーグ岐阜ホーム戦: 0勝0分0敗		
直近の対戦結果	2025/05/17 J3 - 13節 @ C F S 栃木C 1-0 岐阜		
ここ 3試合の 公式戦の 結果	岐阜	2025/11/09 J3 - 35節@長良川 岐阜 2-4 鳥取	2025/11/08 J3 - 35節@C F S 栃木C 3-1 讃岐
		2025/11/02 J3 - 34節@カンセキ 栃木SC 1-2 岐阜	2025/11/03 J3 - 34節@沖縄県陸 琉球 2-2 栃木C
		2025/10/25 J3 - 33節@長良川 岐阜 1-3 鹿児島	2025/10/25 J3 - 33節@C F S 栃木C 1-0 八戸

栃木シティ:

1947年に創設された日立栃木サッカー部は、2006年に日立栃木ウーヴァに組織変更。2009年の地域決勝で準優勝し(優勝は松本山雅) JFLへ。2010年に栃木ウーヴァとなる。2012年にはJFLで最下位となったがノルブリッツ北海道との入替戦を制し残留。その後も(他チームの昇格などもあり)しぶとく残留を続けていたが、2017年に3度目のJFL最下位となり関東リーグへ降格。J選手をプロ契約で大勢獲得し再昇格を目指す。2023年、関東リーグを2位で終えたがJリーグ百年構想枠(百年構想クラブに認定されると、全社枠次第が1回だけこの権利をつかって地域CLにエントリー出来る)を活用して地域CLに挑戦すると同大会で優勝しJFLに再昇格。翌2024年はスタートダッシュに失敗するもリーグ中盤以降に大逆襲、第13節・鈴鹿戦以降は無敗でシーズンを乗り切りJFLで優勝、J3に自動昇格となる。(吉田铸造)

●全 38 試合の J3 リーグ 2025 シーズンも、残り 4 試合となった最終盤。11/9 (日) 第 35 節・ホーム鳥取戦では、この試合でも自陣でのミスから先制点を許してしまうFC岐阜。前半 32 分には #16 西谷亮のゴールで同点にするが、前半 43 分に裏返されて 2 失点目。そして後半に投入された #18 山谷侑士が後半 14 分に退場すると、後半 19 分と後半 36 分、岐阜が前掛かりになったところでカウンターを浴びて計 4 失点を喫する。後半 39 分には #19 松本歩夢が 1 点を返すも、反撃はここまで。自滅した岐阜が 2-4 で破れた。

この敗戦の結果、FC岐阜の順位は 10 位から 13 位に下降。今季は残り 3 試合で、6 位 (= プレーオフ出場圏)・北九州との勝点差は 9 だが、北九州は (勝点 53 で並んでいる) 7 位・金沢との試合を残している (つまり、どちらかのチームに必ず勝点が入る) ため、岐阜が 6 位以内にすることは不可能となり、J2 昇格プレーオフ争いからの脱落も決定した。もちろん、2 ヶ月半前までは J3 残留も危ぶまれていたことを思い起こせば、当時の目標は達成したと言える。しかし、シーズン最終節まで、ひとつでも多くの勝利を、勝点を、ゴールを積み重ねることが、すべてのチームに求められているはずだ。10 位・相模原とは勝点差 3。まずは、ここを目標に、再び勝利を重ねていかねばならない。

さて、今節の対戦相手は、栃木シティ FC (以下「栃木C」) だ。昨季に (現クラブ体制としては) 初の JFL で優勝し、今季が J 初参入となるチームだが、4 季目となる今矢直城監督体制の元で選手も補強し、シーズン序盤から勝ち点を積み上げて快進撃を続け、優勝争いの中心にいるチームだ。そして、現在は 8 試合無敗 (6 勝 2 分・17 得点 4 失点) という圧倒的な成績を挙げて、前節では遂に首位に返り咲いている。現時点での J3 で、最も勢いのあるチームと言って過言ではない強敵だが、このホーム戦で、岐阜の選手たちの奮起に期待したい。

初対戦となった前回の 5/17 (土) 第 13 節・アウェイ戦は、大雨が降る中での試合。シンプルにボールを蹴り合う展開の中で、一瞬の隙を突かれて #90 ピーター・ウタカに得点を許し、0-1 の敗戦。そして、栃木C で最も注目すべき選手は、やはり #77 田中パウロ淳一だ。岐阜に 3 季 (2016 ~ 2018 年) 在籍し、その後、2023 年に栃木C に加入。栃木C の躍進を牽引している選手の 1 人で、SNS を活用した J リーガーとしても著名だ。現在は 9 得点 12 アシスト、彼の「凱旋」は、岐阜サポーターにも嬉しいことだが、しかし、「恩返し弾」を許す訳にはいかない。また、8 得点の #90 ピーター・ウタカ、6 得点の #39 バスケス・バイロンと、J3 規格外の強力な FW 陣が揃っている栃木C。前節で 4 失点した岐阜の守備陣が、どう立て直して防ぎきるか重要なポイントだろう。石丸監督の采配に期待したい。

昇格も降格も可能性が無くなったとしても、やはり勝利を求める強い気持ちは、誰もが同じはずだ。そして、選手たちが最後まで 90 分間ひたむきに走り続け、一戦必勝で食欲に戦い、そして勝利を掴む姿は、やはり J リーグクラブの存在意義として、僕ら FC 岐阜サポーターも改めて確認したいところだ。シーズン残り 3 試合、彼らの勇姿を目に焼き付けながら、最後まで選手たちの背中をしっかりと後押ししよう。(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第 35 節】岐阜 2-4 鳥取

●まあミスが出るとこうなっちゃうよねって内容の試合。先制されて、それでも存外早い時間に追い付けたまでは良かったのだけれど。

後半、巻き返しに期待したのだが、荒木大吾に代わって投入された山谷侑士が、15 分も経たないうちにイエローカード 2 枚で退場。がむしゃらに得点を狙いに行ったのは分かるし、2 枚目のカードのシーンには鳥取 GK 高麗稜太に欺かれた感も無きにしも非ずだが、直前に 1 枚もらっている選手のプレーではなかったかな……。

これで一気に形勢不利に。3 点目、4 点目は前掛かりに点を取りに行った上での結果だから致し方なし。それでも 1-4 で終わりそうなところを更に 1 点返せたのは良かったと思う。箱崎達也から裏に出たボールを右サイドから駆け上がってきた松本歩夢がダイレクトで叩き込んだのは見事だったな。これでプレーオフへの夢も潰えた。残り 3 試合、モチベーションの持って行き方がむつかしいところだけれど、反省すべきところは反省をして、また次の試合に臨むだけ。どう戦うかは自分たち次第。

この日のゴール裏。どんなに劣勢になってもチャントを止めなかった。試合終わって選手が挨拶に来て、ロッカーに引き上げるまで止めなかった。素晴らしかったと思う。この気持ち但至少でも選手に届いてくれれば。(岐阜の誇り)

●端的に、“自滅”という表現が相応しいような試合内容だったかなと思う。7 連勝してた頃もそうだったけど、どうも試合の入りがピリッとしなないというか、守備陣の連携がいつも悪くて。GK # 1 茂木秀のキックミス後も、ちゃんと声を掛け合って集中して守れば失点は防げたようにも見えた。」3 残留が決まって気が抜けたのか、それとも新たな戦術を試していたのか…。そして、鳥取の # 10 富樫佑太に“恩返し弾”を献上しちゃうんだもんなあ…(溜息)。前半 32 分の # 16 西谷亮の同点弾は見事な一撃だったけれど、前半 43 分には右サイドで縦パスを通され、受けた # 10 富樫がスルーパス。この際も、守備陣の戻りが遅かった。というか、大島監督時代に失点しまくった『2 バック』に戻ってしまった感が。HT はピッチで誰も練習してなかったから、ロッカールームで相当の檄が飛んだと思う(苦笑)。けど、# 18 山谷侑士の退場がプランを崩してしまった。2 枚目の GK との接触は不運だったとしても、1 枚目の警告が不用意だった。これまでの試合でのプレーも併せて、主審に悪い心証を与えたのが要因だと思う。本当に猛省して欲しい。1 人欠けても攻勢を掛ける岐阜。だけど、素早くダイレクトにプレーを繋げれば崩せそうなのに、ボールを足下で止めて出し手を探すから、テンポが遅くて相手に対応されてしまう。これも大島監督時代によく見られた場面だ。そして後ろのケアをしないので、カウンターを 2 発浴びて 2 失点。それでも、最後の選手交替でようやく攻撃が機能して、# 19 松本歩夢の今季初ゴールが決まり、何とか“見られる”試合になったけど…まあ完敗でしたね(溜息)。これで J 2 昇格の可能性も無くなった。ここからは、もちろん勝利を求める気持ちは変わらないけれど、(半年の特別大会を含めて)来季を見据えた内容での試合を見せて欲しいと思います。(ささたく)

●臍員目に見て、あのファールへの黄紙は厳しい、と思わないでもないが、どう、臍員目に見ても、後半アタマからの出場なのに、すでに一枚もらってる選手のプレーではなかったような……？これでビハインドを背負ったまま 10 人で戦うハメになったんで、その後の 2 失点はやむを得ない。ただ、1 点返したことで試合にはなった。とにかく、復帰後の初ゴール、おめでとう！待ってたよ>アユ。

で、あのファールより問題なのは先制された場面。連勝が止まった試合も含め、ほとんどの試合でミスから失点。「相手に 1 点与えてから試合をしなさい。」というタスクでもあるんだろうか？などと、ひねくれた見方をしていたが、試合後の監

督は「技術的なミス」となっていたんで、これからもああいふチャレンジはするし、それによるミスも出るんだろうな。しかし、アウェイも含め、今季の鳥取戦は散々だったね。まあ、アウェイの時よりは多少マシ、かな(苦笑)。次の試合は首位が相手。だからといって、パウロに負けたくない。アウェイでの借りを返してやろう！(ぐん、)

●試合開始当初から「なんか『ぬるい』な……」と思って観ていたのだけど、いつものようにビルドアップの失敗から奪われて失点。西谷のゴラッソで追いつくも高速カウンターで仕留められて再びビハインド。さあ修正マエストロの石丸監督はどう動く？と見ていたらダイゴ→山谷。で、その山谷が 15 分だかで警告 2 枚で退場に。それでも 1-2 負けをヨシとしなかった岐阜は 10 人で攻勢に出て、その結果カウンターを喰らってさらに 2 失点。最後にアユのゴールで文字通り「一矢報いた」形に。山谷の退場については、鳥取の GK が試合の最中に岐阜ゴール裏に謝る素振りをみせていたので、「痛がる演技をしたら(山谷を)退場にまで追い込んだ、ごめん」ってところではないかと『推測』します(苦笑)。興味深いのは、先制失点(?)のシーンについて石丸監督が試合後の取材で「あれは技術的なミスなのでリスク管理としては気にしない」と答えていること。ぼくらは「ミスに至る工程は回避(排除)して事故を防ぐ」という“安全工学”的基準で動くけれど、サッカー選手は、そしてチームは、(文字通りの意味で)『違う』のだろう。勇気と自制心を天秤にかけたら少しだけ勇気が上回る。「ミスはしなければよいのだ、最初から回避しては戦いに勝てない」。石丸監督の目指すサッカーはそういうモノなのだろう。あとは、J3 の選手に『それ』が出来るか。出来るようにならなければ、また残留争いに身を投じることになるし、出来るようになれば、上のカテゴリーも見えてくる。「チームが成長する」って、きっとそういうことなのだろうな。(吉田鑄造)

現時点の JFL の状況。

●残り 2 試合の順位表です。

1 位：Honda	勝ち点 57	
2 位：滋賀	勝ち点 55	ライセンス取得 2,134 人
-----J3 昇格ライン-----		
3 位：青森	勝ち点 50	ライセンス取得 1,924 人

Honda の 2 位以内(=J3 の 19 位は自動残留)と浦安の 3 位以下が確定しました。滋賀はホーム最終戦で 118 人の観客を集めれば、1 試合平均 2,000 人の観客動員ハードルをクリアします。まず大丈夫でしょう。青森が滋賀を抜いて 2 位になり、さらに青森のホーム最終戦で 3,060 人の動員を達成できなかったときは「1 試合平均 2,000 人」の条件を満たさないで 2 位・青森は J 昇格の資格を失い、J3 の最下位も自動残留になりますが、それ以外は J3 の最下位は「自動降格か入替戦か」のイベントに巻き込まれることになります。(編集人・吉田鑄造)